

社会福祉法人 東京有隣会

有隣

YURIN

2024.1

(令和6年)



新年のご挨拶



社会福祉法人 東京有隣会
理事長 奥 典之

新年あけましておめでとうございます。
令和六年の年頭にあたり、ご挨拶申し上げます。

はじめに、この度の能登半島地震により犠牲となられた方々に深く哀悼の意を表するとともに、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

さて、東京有隣会は、関東大震災後の未曾有の社会の混乱のなかで生まれましたが、私たちの活動の原点は、「患者・利用者本位で、超高齢化社会の中で私たちがご提供できるサービスとは何か」を常に考え、実践することだと考えています。

昨年策定した中期行動計画の根底にあるのは、地域と共に成長してきた法人として地域を大切にすること、病院と介護施設を併せ持つ法人の特徴を生かし一体的な取組みを進め、他の法人等と連携して、地域共生社会、安心社会の基盤をつくっていくことです。

東京有隣会が、地域福祉の未来に貢献する法人としての活動がしっかりできるよう、全職員が力を合わせ明るい職場環境の中で取組みを着実に進めてまいります。



新年のご挨拶

有隣病院院長 藤田 宜晃

千歳船橋を照らし続ける病院

明けましておめでとうございます。

古い中国の書物に「一隅を照らす」という言葉があります。天台宗の僧「最澄」は全国から集まった修行僧に、各自鍛錬し地域を照らす存在になれと諭しました。地域のために精進し、地域の人々から慕われることは私達医療者にとっても大切なことです。

以前から有隣病院は世田谷で地域の人々を健康面で支えて参りました。今、高齢化社会となって独居の方や老々介護のお宅が増えていきます。いつ起こるかも知れない大病に独力では対処しきれません。急性期治療が終わっても、すぐには日常生活を始められません。私達はそんな皆様の回復を支え、住み慣れた我が家に帰れるよう手助けをしています。昨年私達は地域で開催された春の「あおばまつり」や秋の「ふれあいまつり」で会場に健康相談コーナーを設け住民健診の大切さを説明させていただきました。区長さん初め大勢の船橋地域の皆様に高い関心をもってお集まりいただき、いろいろなご相談をいただきました。今年も皆様の生活に根差した医療・介護を続けていきます。

有隣病院はいつも船橋地域の輝となって、皆様の期待に答えていきたいと思っております。

船橋ふれあい祭りに参加しました

令和五年十一月三日快晴の下、東京有隣会は有隣病院の藤田院長をはじめスタッフが4年ぶりに開催された船橋ふれあいまつりに参加させて頂きました。

当法人のブースでは、血圧測定、ABI（循環器系の検査）、看護相談、健康クイズを行いました。子どもさんから高齢者の方まで一三〇名以上の参加があり、ご自身の健康への関心をより高めて頂いたことと思います。保坂展人世田谷区長も訪れてくださいました。

これからも地域に根差した法人を目指してまいります。



有隣ホーム

笑顔あふれた
新年を迎えました



新年あけましておめでとうございます。暖かくなったり、寒くなったり、今年のはなんなのだろうと思いつながらクリスマス・新年を迎えました。

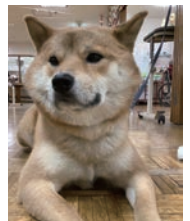
今年のお正月は、敬老の日にご好評をいただいた家族面会の枠を拡大し、一月二日と三日の二日間、計三十二組のご家族に面会をしていただきました。入所者の方もご家族も和やかな時間をお過ごしのご様子でした。今年も皆様にとってよい一年になりますように。





第2有隣ホーム

♪楽しい一年にしたいと思います♪



新年あけましておめでとうございます。第2有隣ホームスタッフ一同、皆様

のご愛顧に心より感謝いたします。

皆様にはお伝えしていません。すとおり、現在新棟の建設が着々と進んでおります。新しい生活環境でもご利用者様が安心して快適な日々をお過ごしただけのよう、さらなるサービス向上に努めてまいります。

昨年よりボランティアの受け入れを再開しました。マトリョミンという不思議な楽器の演奏会や学生さんの訪問など沢山の方々が来て下さり、フロアが活気づきました。

時々遊びに来てくれるいる看板犬のモチ君は入居者様や職員にも人気者です。まだ感染症の脅威は収まりませんが適切な対応をとりながら、地域に開かれた施設を目指してまいります。



有隣ケアセンター

♪より楽しいデイサービスを目指しています♪

あけましておめでとうございます。暖冬といいながらも冷え込む日もあり、体調を崩しやすい日々ですが、いかがお過ごしでしょうか。

ケアセンターでは十二月に「クリスマス会」、一月に「新春会」の行事を開催しました。忙しい年末年始にもかかわらずたくさんのお客様のボランティアの協力があり、感謝に堪えません。

クリスマス会では、バイオリンの演奏や子どもたちの合唱・楽器演奏のほか、職員によるハンドベルやプレゼント交換会を行ない、最後はマツケンサンバで賑やかに締めました。



新春会では、職員制作のすこくや獅子舞、ボランティアによるバイオリンとピアノの演奏を行ないました。お正月らしい曲の数々を口ずさむ方も多く、生の演奏に涙ぐんで感激してくださった利用者もいらっしゃいました。

寒い季節は外出も少なくななり、暖かい家の中で過ごしがちです。有隣ケアセンターでは気分転換、機能維持を目的とした様々なプログラムを用意して、お待ちしております。



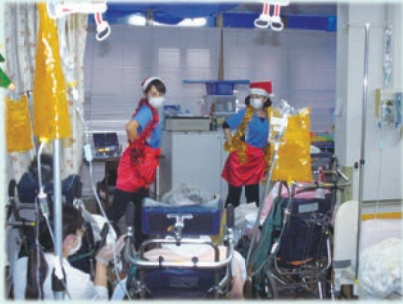
有隣病院

東京都看護職員 復職支援研修病院体験

東京都看護協会が東京都からの受託を受けて実施しています。十一月二十七日から二回目の研修を二名の方が病院体験をしました。

クリスマス会

療養病棟でクリスマス会を行いました。職員によるハンドベルの演奏や歌の披露などを行い、患者さんに喜んでいただきました。



健康 コラム



乾皮症のセルフ・ケア

院長 藤田宜是

冬本番となり、肌荒れが気になる時期になりました。背中や手のひらにひび割れが見られ、強く掻くと傷や感染に繋がります。洗剤や消毒薬を常用して

ないでください（素手での泥根菜洗い等）。
④洗濯…強洗浄力の石鹼や刺激の強いナイロンタワシなどを避けましょう。
⑤入浴…熱い湯を避け、できれば入浴回数を減らしましょう。洗濯と同様に石鹼やタオルの材質にも注意しましょう。

冬の肌荒れは乾燥肌と呼ばれる皮脂欠乏症のため、皮膚の水分を保つ機能が低下することが主因です。寒さや乾燥・加齢・アトピーなどが誘引になります。予防・対策で大切なのは原因にかかわらず、「皮膚の保湿とセルフ・ケア」です。

難治性湿疹を防ぐには積極的に尿素の含まれた保湿剤を使用しましょう。素材中の水・油の含有比でローション・乳液・クリーム・軟膏の4種類があります。塗布後のつけ心地から自分に合ったものを選ぶのがコツです。塗り方は手指消毒のときと同じです。

普段のくらしで気を付けてほしいことを箇条書きにしてみました。
①湿度管理…エアコン使用時は乾燥に注意。加湿器で湿度にも注意しましょう。
②皮膚管理…痒くても掻かない。できれば刺激の少ない肌着を着ましょう。
③炊事…濡れた食材を強く摩擦し

指消毒のときと同じです。



2024年1月1日16時10分頃、石川県能登地方を震源とする最大震度7(マグニチュード7.6)の地震が発生、石川県内で最大震度7が観測され、北海道から九州地方にかけても最大震度6強や津波が観測されました。特に能登半島は甚大な被害となり、現在も被害の全容が把握できない状況となっています。このたびの未曾有の災害に際し被災された方々に心からお見舞い申し上げるとともに、復興に尽力されている皆様には安全に留意されご活躍されることをお祈りいたします。

※全国社会福祉協議会の「令和6年能登半島地震にかかる義援金」の募集に取組みます。ご協力よろしくお祈りいたします。

